



第1158号  
2010年3月21日発行  
日本聖公会東京教区  
港区芝公園3-6-18  
編集人 英 久子

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: [comm.tko@nskk.org](mailto:comm.tko@nskk.org)  
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

《奉獻先から》  
キッズスクール

昨年度30周年を迎え、この3月で344人の卒園児を送り出します。深川の地で地域に奉仕する活動を続けてきた聖救主教会の一つの施設として始まったキッズスクールは、今までの幼児施設の枠をこえ理想の幼児教育を目指しています。与える教育ではなく、自らやりたいことをする。楽しませるのではなく、自ら楽しむ場所です。子ども主体の異年齢割りの環境の中で新入園児は先輩達の様子を自ら吸収し、先輩達は知っていることを知らない子に伝える喜びを感じ取っていきます。関係する大人達は、子どもの事を知る過程で神様に出会い、そのま

まを受け入れる大切さを味わうのです。(主任 宮本恭子)

◆としえの平安

2月25日 加福もとゑ(88)

2月28日 小倉 文子(99) 聖マルコ

2月28日 小倉 文子(99) 聖パウロ

▽一羊会の集まり(人権を守るための対話)「死刑廃止と宗教者の役割・赦し・償い・和解」講

師柴田幸範(カトリック・イエズス会「死刑を止めよう」宗教者ネットワーク事務局)。27日(土)10時半。聖バルナバ教会。席上献金。照会TEL 042(3)932256 世話人森田麻里子。  
【大斎節公開プログラム】6  
▽棕櫚の十字架作り・26日(金)聖マリア午後、聖マーガレット13時・27日(土)清瀬聖母10時、聖マルコ13時。

今週・来週の予定  
3月21日~4月3日

- 21(日) 大斎節第5主日 協議会  
外濠G教会協議会  
山手G教会協議会  
環状G教会協議会  
多摩G教会協議会
- 22(月・休) 第111(定期) 教区会
- 23(火) 銀座朝教会
- 24(水) 教役者聖餐式
- 25(木) 主教選挙特別委員会
- 26(金) 山手G牧師協議会  
正義と平和協議会  
運営委員会
- 28(日) 復活前主日 合同堅信式 (主教座)  
城南G教会協議会  
下町G教会協議会
- 4月  
1(木) 聖木曜日礼拝 (主教座)
- 2(金) 受苦日礼拝 (同)
- 3(土) 聖土曜日礼拝 (同)

《掲載記事の転用可(事前連絡要)》

ついでこの間、私は37歳になりました。37年間の人生経験はまだ浅いと思う方がいると思いますが、ここまでの人生をまとめてみると確実にいえることは2つあります。①人生はいつも計画・期待通りに展開しない。②計画・期待通りではないことは、むしろいいことである。

夢を持って、高い目標を目指すことは本来とてもいいことです。動機付けは神様から与えられるものであり、それによって神様の御業が行われています。

《み手のなかで》

人生が計画・期待通りにいかないとき

ジョン・ギブソン

「なかつた」もしくは「ある会社にどうしても入りたかつたが、入れなかつた」ということがあります。

悔しいけれど私の計画通りにいかないということは、神様の計画に入っていないなかつたということがよく理解できるようになりました。むしろ計画通りにいかないからこそ神様からいろいろな恵みを与えられます。私は「どうしても入りた大学」に入学ができなかつたことによって、妻に出会って、神楽坂に住むことになって、牛込聖公会聖バルナバ教会に通うようになりました。

今後の人生もきつと計画通りにいかないことはたくさんあります。しかし、がっかりする前に神様の計画が行われていることを感謝するようにします。

(聖バルナバ教会信徒)

## 春の教区会明日開催

第111(定期)教区会は22日(月・休)9時、聖餐式(主教座聖堂)をもって開催される。今教区会(聖アンデレホール)では、昨年度の諸活動報告を中心に進められ、09年度教区会計決算承認と常置委員選挙が行われる。また、今回は東京教区主教選挙を覚えて祈る件が、東京教区主教選挙特別委員会から提案されている。

## ◇社会福祉法人ひかりの子

2月24日付で、東京都知事より設立認可書の交付を受け、2月26日の第1回理事会において神崎雄二司祭が理事長に就任された。保育園設置者・東京教区は同法人へ保育事業を譲渡し、新園舎用に土地を無償貸与する。仮園舎移転

(本年5月連休中を機に、社会福祉法人ひかりの子月島聖ルカ保育園として、保育が開始される。新園舎(3階建)の完成は来年3月末。3階は月島聖公会念願の礼拝堂となる。

▽カパテイランのフェスタ開催 在日フィリピンの方々との交流と活動資金調達のため(5月22日(土)11~15時、聖アンデレ主教座聖堂・ホール)。現在、出店者・ボランティア・パフオーマー・参加者などを募集中。詳細照会〓同事務所TEL03(3432)6449。

【大斎節公開プログラム】5  
▽聖十字架の道行きの黙想。27日(土)19時。▽聖パウロ教会〓黙想会(テゼ)28日(日)13時半。

## 《今、この教会では…》

目白聖公会

「どうしたら教会に信徒が増えるのだろうか」「新しい方にまた来ていただくためには?」このような課題のもとアッシュャーグループを中心に、初めて教会に来た方や結婚式を挙げた方々をお招きして「祈りと食卓を囲む会」が開かれました。祈りの部では「テゼの集い」が開かれ、その後婦人会や青年会が食事準備し、総勢50名以上の方々が「宴会」に参加しました。

現在当教会では大斎節カレンダーに従って毎日家で「詩編拝読」が続けられています。一人でも多くの方々が教会にふれあい、一緒に神様へ祈りと感謝を捧げたいものです。(濱口俊)

## 【クローズアップ】43

## 月島聖公会のあゆみ

月島の地に1900年に伝道が開始されてから、関東大震災、第二次世界大戦を経て110年もの間、イエスさまの宣教の働きが途絶えずに続けられてきたことに、大きな感謝を覚えます。

1927年、英国CMSの宣教師ミス・ヘンテが幼稚園を開設。以来、戦争による中断があったものの、1954年には地区全体の熱心な要望に答え、伊東祐司祭以下教会委員会が中心となって聖ルカ保育園を開設。

月島聖公会はその歴史の時間の多くを、社会的には弱者である幼子たちとその家族に仕える働きに献げてまいりました。

ここ数年に亘り、現在の聖堂兼園舎(木造築50年)を建替える

必要性についての議論が教会、保育園、また教区で重ねられてきました。そして教会はついに建替えを決断いたしました。

保育園は社会福祉法人化することで公から大きな補助をいただけることとなったのですが、

教会の方は、資金的な準備が整っておらず、このまま進んでもよいのか、恐れと不安を抱いておりました。しかし、月島の地で長きに亘って続けられてきた幼子たちへの働きを、今ここに

在る私たちが受け継ぎ続けて行くことは神さまのみこころであり、必要なものは必ず備えられると信じ、歩んでまいりました。

今や、必要なものは与えられ

つつあります。下町グループを初めとする教会や、篤志家の方からいただくこととなった沢山の献金にたすけられ、私たちは今、教会と保育園(合築)の建築を、心からの祈りをもって進めさせていただいております。

人口増加率、また新生児出生率が突出して大きい中央区・月島地区において唯一の礼拝堂を持つ新しい教会として、また地域の切実な保育の必要にこたえる施設を併せ持つ教会として、主のみ栄えを表す器とされますように。皆さまのこれまでのお祈りとご協力に感謝しつつ、さらなるお支えをお願い申し上げます。

月島聖公会信徒

長島令子